2023 年 6 月 7 日

2023 年国連水会議開催記念シンポジウム
開催概要（案）

1．背景と開催趣旨

世界では、今も数十億人の人々が、安全に管理された飲料水やトイレを利用できない生活を送っています。多くの水資源がますます汚染され、水を供給する生態系は失われつつある中、気候変動の影響で、干ばつや洪水などの水関連災害の頻度が上がるとともに、その規模も大きくなってきています。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、持続可能な開発目標（SDGs）の多くが達成に向けた軌道から外れています。水と衛生に関連するゴール 6 は、SDGs の他のゴール、特に健康、食料、ジェンダー平等、教育、暮らし、産業、気候、環境に密接にかかわっており、SDGs を達成する上での鍵となる目標だと言えます。

このような背景のもと、国連総会は、2023 年 3 月 22 日-24 日にニューヨークの国連本部にて、オランダおよびタジキスタン政府を共同ホストに「2023 年国連水会議」を開催しました。この会議の目的は、世界的な水危機への認識を高めること、そして国際的に合意された水関連の目標およびターゲット達成のための「水行動アジェンダ」をとりまとめることであり、「水の国際行動の 10 年（2018-2028 年）」の実施に関する中間レビュー会議として開催されました。国連における「水」に関する政府間会合としては、1977 年にアルゼンチンのマルデルプラタで開催された国連水会議以来であり、世界各国から 7,000 人以上の国連加盟国の代表ならびに水問題解決に取り組む様々なステークホルダーが集結しました。

会議では、全体会合と 5 つのインタラクティブ対話において、包摂的かつ部門横断的な議論が行われました。今後は、「水行動アジェンダ」のフォローアップを通じて、「水の国際行動の 10 年」の後半における世界の水関連のゴールとターゲットの達成に向けた行動が推進されることが期待されています。

日本においても、気候変動の影響による水関連災害の頻発、水不足等の深刻な水問題を抱えており、世界の状況および国連における議論を踏まえて解決に取り組むことが重要です。そこで、国連地域開発センター（UNCRD）は、日本政府、オランダ政府、国連広報センター（UNIC）、政策研究大学院大学（GRIPS）と協力し、2023 年国連水会議での主な議論や成果を日本国内で共有することを目的に 2023 年 6 月 12 日に記念シンポジウムを開催します。シンポジウムでは、2023 年国連水会議の参加者から会議の議論や成果を共有するほか、その成果を踏まえたパネルディスカッション「水とローカル SDGs ― 持続可能な都市の実現に向けて」を行います。本パネルディスカッションでは、SDGs のゴール 6 のみならず、関連するすべての SDGs の達成に向けて、国内の健全な水循環の構築、事前防災を中心とした水災害への取り組み、新たな解決策として期待されるスマートシティによる持続可能な都市開発等、日本国内の都市や流域といったローカルレベルにおける様々な取り組みを紹介します。そして、それらを今後世界に発信・展開していくため、各ステークホルダーが担うべき役割について議論することで、今後の日本の水外交や様々なパートナーシップ構築への指針を示したいと考えています。

２．開催概要

日時：2023 年 6 月 12 日 14 時～17 時（途中休憩 15 分）

場所：国連大学エリザベス・ローズ国際会議場（5 階）

〒150-8925　東京都渋谷区神宮前 5-53-70

主催：国際連合地域開発センター（UNCRD）

共催：外務省、国土交通省、在日オランダ王国大使館、国際連合広報センター（UNIC）、政策研究大学院大学

スピーカー・参加者：各国政府、国連機関、地方自治体の代表や専門家、その他日本国内で SDGs に取り組む企業・研究機関・市民団体等 SDGs に関心のある方

言語：日英（同時通訳を想定）

形式：ハイブリッド形式（対面、Zoom による配信）

３．プログラム案

14:00-14:15　開会

- 李军华（Li Junhua）　国際連合経済社会問題担当事務次長
- ペーター・ファン・デル・フリート　駐日オランダ王国大使
- 原圭一　外務省大臣官房審議官
- 根本かおる　国際連合広報センター所長

14:15-15:00　2023 年国連水会議での議論と成果について

- 司会による国連水会議の全体概要紹介
  横田妙子　国際連合地域開発センター　災害リスク軽減と水に関するプログラム専門家

- スピーカー
  - インタラクティブ対話 3「気候、レジリエンス（強靭性）、環境のための水」
    上川陽子　2023 年国連水会議日本国総理特使・衆議院議員（予定）
  - 「水行動アジェンダ」と今後のフォローアップ
    ニルス・フランデレン　オランダインフラ水管理省　国際水問題コーディネーター
  - 自治体のショーケース
    大西一史　熊本市長
  - 熊本水イニシアティブ
    時岡利和　国土交通省水管理・国土保全局　国際河川技術調整官

15:00-15:15　コーヒーブレイク

15:15-16:45　パネルディスカッション「水とローカル SDGs ― 持続可能な都市の実現に向けて」

安全な水やトイレへのアクセス、水関連災害、気候変動をはじめとする地球規模課題等、現在直面する様々な水問題を取り上げ、それらの解決策として地方自治体や地域レベルでの活動（事前防災、スマートシティプロジェクト等）を中心に、政府、地方自治体、国連機関、市民団体、企業の代表などがそれぞれの活動を紹介し、今後の展望について議論する。

- モデレーター　廣木謙三　政策研究大学院大学教授 /水と災害に関するハイレベルパネル コーディネーター

- パネリスト
  - 沖理子　宇宙航空研究開発機構地球観測センター長
  - 加藤篤　NPO 法人日本トイレ研究所代表理事
  - 寒川博之　メタウォーター株式会社海外営業部長 / 水インフラ国際展開タスクフォース リーダー
  - 古澤礼太　中部大学准教授、中部 ESD 拠点事務局長
  - 山田朋人　北海道大学大学院工学研究院教授

16:45-16:55　2023 年国連水会議から第 10 回世界水フォーラムへ

- ヘリ・アフマディ駐日インドネシア特命全権大使

16:55-17:00　閉会挨拶

- 遠藤和重　国際連合地域開発センター所長